

朝の館内放送

令和5年9月4日

おはようございます、市長の中村健です。

8月27日に投開票された長久手市長選挙において、新人の佐藤有美候補が当選し、愛知県で初の女性首長が誕生しました。

十分な素質や実績をもつ人材が、性別や人種などの要因により昇進を阻まれてしまう状態のことを「ガラスの天井」といいますが、一つの大きなガラスの天井が打ち破られたこととなります。

副市長でも、愛知県内の女性副市長は西尾市と名古屋市のみという現在の状況を見ると、とても象徴的な出来事でした。

昨今のように、変化が速く不確実性の高い時代においては、強い組織を作っていく上でダイバーシティと呼ばれる多様性が重要なポイントとなりますが、ガラスの天井のように様々な見えない障壁がそれを阻んでいるのが現実です。

その障壁を作っている側の人間はあまり意識していないことも珍しくなく、長い年月その障壁があることから、そのことに問題意識を持つ人はマイノリティであることも多く、それを打ち破るには大きなエネルギーが必要とされます。

また、そうした障壁があることで、組織は同質性が強くなる一方、閉鎖的になりがちであると考えます。

高度経済成長期やバブル経済期のように、大量生産・大量消費が求められる時代においては、同一性が高く効率的に正解を出せる組織の優位性が高かったかもしれませんが、先ほども述べたように、今は時代が違います。

無意識的にでも、ガラスの天井を作ることに自分も加担してはいないか、性格や属性が自分とは大きく異なる人に対し拒絶の姿勢を示してはいないか、一度自分の心に投げかけてみてください。

そして、誰もが働きやすく、誰もが活躍できる、強くて多様性に富んだ組織を一緒に作っていきましょう。

以上で朝の館内放送を終わります。